

# 第35回

# 曾於地区

# 教育振興大会が

# 大崎町で開催



## 大会テーマ

## 「一隅を照らす曾於の教育」

平成20年1月19日(土)、「第35回曾於地区教育振興大会」が、本町の中央公民館で開催され、学校教育・社会教育に携わる曾於地区2市1町の約450名の方々が出席されました。

本大会は、曾於地区教育振興会と大隅教育事務所曾於支所が主催して開かれるもので、当日は教育功労者の表彰や、学校教育・社会教育等の活動発表、講演などが行われました。本町からは教育功労者として、昭和42年に設立され、町内の剣道スポーツ少年団や中学校等へ指導者を派遣し、剣道を通しての青少年健全育成に大きく寄与した「大崎町剣道連盟」が団体の部で表彰を受けました。

また、教育活動発表では、広報おおさきの「歴史を歩く」でお馴染



▲内村埋蔵文化財専門員による活動発表

染みの内村憲和埋蔵文化財専門員が、埋蔵文化財を活用した歴史探訪講座や遺物の巡回展等による生涯学習と、文化財を通しての青少年健全育成などの説明をしました。

曾於市の発表では、郷土芸能の継承として、旧財部町の中谷小学校の児童が中谷奴踊りを披露しました。



講演会は、元鹿児島水産高等学校の実習船薩摩青雲丸船長の岩田秀氏が「体験から生まれる宝」と題して、高校生と一緒に船での洋上実習を通して、子ども達の技術や精神力を鍛え、多くの若者たちを育ててこられた指導方法や理念等について、具体的にそして熱く語られました。

また、館内には曾於地区内の小学校の「学校だより」が展示され、休憩時間や大会終了後、多くの参加者が見入っていました。大会が終わってホールから出てきた人達からは、「よか、大会やっただ。」「講演は感動した。」という声がかえってきました。



# 大崎

# 曾於

# 志布志

# 教育